放射性廃棄物管理状況（2019年度 第3四半期）

1．放射性気体廃棄物の放出量

（単位：Bq）

			全希ガス	^{131}I	全粒子状物質	^{3}H	備　　考
原子炉施設合計			ND	ND	ND	7.2×10^{10}	放射性気体廃棄物の放出放射能（Bq）は、排気中の放射性物質の濃度（Bq/cm^3）に排気量（cm^3）を乗じて求めている。 なお、放出放射能濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 検出限界濃度は以下のとおり。 全希ガス：2×10^{-2}（Bq/cm^3）以下 ^{131}I：7×10^{-9}（Bq/cm^3）以下 全粒子状物質：4×10^{-9}（Bq/cm^3）以下 （^{60}Coで代表した） ^{3}H：4×10^{-5}（Bq/cm^3）以下 また、原子炉施設合計値は、端数処理のため、排気筒別内訳の合計値と一致しない場合がある。
排気筒別内訳	1号機排気筒		ND	ND	ND	8.9×10^{9}	
	2号機排気筒		ND	ND	ND	2.1×10^{9}	
	3号機排気筒		ND	ND	ND	6.4×10^{9}	
	4号機排気筒		ND	ND	ND	6.9×10^{9}	
	5号機排気筒		ND	ND	ND	2.7×10^{10}	
	6号機排気筒		ND	ND	ND	1.4×10^{10}	
	7号機排気筒		ND	ND	ND	6.8×10^{9}	
	その他排気筒	焼却炉建屋排気筒（荒浜側）	異常なし※1	ND	ND	ND	
		焼却炉建屋排気筒（大湊側）	異常なし※1	ND	ND	4.4×10^{8}	
		固体廃棄物処理建屋排気口	※2	※3	ND	※3	
年間放出管理目標値			6.7×10^{15}	2.3×10^{11}	―	―	

※1　通常レベルから変動していないことを確認して「異常なし」としている。

※2　全希ガスは廃棄物中に含まれないため管理対象外としている。

※3　^{131}I及び^{3}Hの発生量は無視できる程度と評価できることから管理対象外としている。